

■技術提案評価結果(総括表)

資料2

技術審査対象	計:1者	管理番号1
--------	------	-------

管理番号1

評価項目	評価の視点	評価項目番号	素点	重み係数	評価結果					
					特に優れている 5	優れている 4	良 3	可 2	劣る 0	
1. 業務実施方針と配置体制、実績	1) 業務実施方針	(1) 水道用水供給事業及び工業用水事業の重要性、実施にあたっての留意事項など業務実施方針の具体性、妥当性	1	5	1	○				
		(2) 履行開始に先立つ習熟期間における研修についての具体性、妥当性	2	5	1	○				
		(3) 履行期間中の研修についての具体性、妥当性	3	5	1	○				
		(4) 履行完了に伴う、次期受注者に対する研修についての具体性、妥当性	4	2	1				○	
		(5) 業務結果の評価、対応策、報告	5	5	1	○				
	2) 組織体制及び人員配置計画	(1) 総括業務責任者の実務経験 (ア)実務経験年数 (ア)浄水処理能力 (イ)浄水処理方式	6	6	3				○	
			6	15	3	○				
			6	12	3		○			
		(2) 配置予定の有資格者等数 (同一人物が複数の資格を有する重複は可)	7-1	5	1	○				
			7-2	5	1	○				
			7-3	5	1	○				
			7-4	5	1	○				
			7-5	5	1	○				
			7-6	5	1	○				
		(3) 組織体制等に対する具体性、妥当性	8-1	15	3	○				
8-2	15		3	○						
8-3	15		3	○						
8-4	15		3	○						
8-5	5		1	○						
3) 業務実績	(1) 運転管理業務の元請実績 (ア)実務経験年数 (ア)浄水処理能力 (イ)浄水処理方式	9	10	2	○					
		9	10	2	○					
		9	10	2	○					

管理番号1

評価項目	評価の視点	評価項目番号	素点	重み係数	評価結果					
					特に優れている 5	優れている 4	良 3	可 2	劣る 0	
2. 運転監視業務への提案	1) 業務実施計画	(1) 水処理施設の運転管理計画	10	12	3		○			
		(2) 水質基準及び管理目標値に基づく水質管理の方策	11	15	3	○				
		(3) 電気設備の監視操作計画	12	5	1	○				
		(4) コスト削減を目的にした運転管理計画	13	4	1		○			
3. 施設点検と保守整備業務への提案	1) 業務実施計画	(1) 施設点検業務 点検計画、データ管理等の具体性、妥当性	14	5	1	○				
		(2) 故障・異常等による対応 故障及び異常発生時について、実施体制の具体性、妥当性	15	5	1	○				
		(3) 水質計器の保守整備業務の具体性、妥当性	16	5	1	○				
			17	5	1	○				
4. 現場監視操作 修繕業務への提案	1) 業務実施計画	(1) 施設現場監視操作及び修繕業務の体制、 対応方法の具体性、妥当性	18	4	1		○			
5. 緊急時対応業務への提案	1) 緊急時対応	(1) 施設重大事故などの緊急時における緊急連絡、配備体制等の具体性、妥当性	19	15	3	○				
		(2) 原水高濁等水質異常時における緊急対応の具体性、妥当性	20	12	3		○			
	2) 危機管理	(1) 地震や台風などの交通途絶時における対応方法の具体性、妥当性	21	10	2	○				
		(2) 新型インフルエンザ感染症及び新型コロナウイルス感染症等の感染症予防対策及び発生時の対応方法の具体性、妥当性	22	10	2	○				
		(3) 非常時訓練についての具体性、妥当性	23	0	2					○
6. その他	1) 安全管理	(1) 業務実施に対する安全管理体制の具体性、妥当性	24	5	1	○				
	2) 第三者への賠償	(1) 第三者への賠償対策の具体性、妥当性	25	5	1	○				
	3) 業務不履行の対応	(1) 仕様書及び技術提案書記載事項を満たさない場合の対応策の具体性、妥当性	26	3	1			○		
獲得素点[点]、最高素点に対する割合[%]			300点	89.6%	参考: 最高素点 335点、失格 最高素点の50%未満[167点]					

■技術提案評価結果

管理番号1

評価項目	評価の視点	評価項目番号	提案項目	添付書類	評価 ○:適切 ×:不適切	評価理由	素点	重み 係数	評価 点	評価結果				
										特に優れている 5	優れている 4	良 3	可 2	劣る 0
業務実施方針	1) (1) 水道用水供給事業及び工業用水事業の重要性、実施にあたっての留意事項など業務実施方針の具体性、妥当性	1	基本的な業務実施方針及び理念 ① 水道用水供給事業の重要性の認識、法令遵守の姿勢 ② 水道用水供給事業の事故が府民に与える影響についての認識 ③ 工業用水事業の重要性の認識、法令遵守の姿勢 ④ 工業用水事業の事故が受水企業に与える影響についての認識		①○ ②○ ③○ ④○	生活基盤の1つとして欠かすことのできない水道用水供給事業の重要性及び企業の社会的責任について、提案が適切。 事故時における府民への広範囲な影響に関する認識について、提案が適切。 産業活動を支える事業の重要性について、提案が適切。 事故により受水企業へ及ぼす影響に関する認識について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない
	(2) 履行開始に先立つ習熟期間における研修についての具体性、妥当性	2	習熟期間(契約後、履行開始するまでの期間)の研修計画 ①研修方針 ②実施体制 ③研修スケジュール ④研修内容 ※社内研修期間と現受注者からの研修期間を区別すること(研修期間における延べ人数と延べ日数)		①○ ②○ ③○ ④○	基本的な知識・技能の確実な習得を方針とし、履行期間中の実施体制及び人数で研修を実施する等について、提案が適切。 企業団への報告窓口を総括業務責任者、研修責任者を代務者とし、各自の技能・技術レベルを可視化する等について、提案が適切。 研修項目ごとの実施内容、対象人数及び日数を明記にする等について、提案が適切。 研修成果が本業務の安定性に寄与するよう基本的な知識・技能を習得し、研修成果の整理とフォローアップを行う等について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない
	(3) 履行期間中の研修についての具体性、妥当性	3	履行期間中の研修計画 ①研修方針 ②実施体制 ③研修スケジュール ④研修内容 (研修期間における延べ人数と延べ日数を明記すること)		①○ ②○ ③○ ④○	1年ごとにPDCAサイクルによる検証を行い、業務の達成度や資格取得に対して目標を定める等について、提案が適切。 現場における研修責任者を決め、教育・研修のサポート部門を設置する等について、提案が適切。 研修項目ごとの実施内容、対象人数及び日数を明記にする等について、提案が適切。 習熟期間に習得した知識・技能のさらなる向上を図るため、従事者の能力に合わせた研修を実施する等について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない
	(4) 履行完了に伴う、次期受注者に対する研修についての具体性、妥当性	4	履行完了に伴う、次期受注者に対する研修計画 ①研修方針 ②実施体制 ③研修スケジュール ④研修内容 (研修期間における延べ人数と延べ日数を明記すること)		①○ ②× ③× ④×	次期受注者が安定した業務運営が行えるよう、人員配置計画に基づき研修を実施する等について、提案が適切。 現場監視操作及び修繕業務に関する記載がなく、提案が不適切。 現場監視操作及び修繕業務に関する記載がなく、提案が不適切。 現場監視操作及び修繕業務に関する記載がなく、提案が不適切。	2	1	2	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない
	(5) 業務結果の評価、対応策、報告	5	業務の評価と対応等について ①各業務に対する技術的な評価 ②評価を行うための社内の監査体制について ③発注者への監査結果の報告と反映		①○ ②○ ③○	技術的な評価に関する内容について、提案が適切。 必要回数(年2回、5年度)実施等について、提案が適切。 監査結果に関する発注者への具体的な報告方法について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない
							22							

■技術提案評価結果

管理番号1

評価項目	評価の視点	評価項目番号	提案項目	添付書類	評価 ○:適切 ×:不適切	評価理由	素点	重み 係数	評価 点	評価結果				
										特に優れている 5	優れている 4	良 3	可 2	劣る 0
1. 業務実施方針と配置体制、実績	(1) 総括業務責任者の実務経験	6	総括業務責任者の実務経験の内容、及び経験年数 以下の条件を満たす浄水場の運転管理業務における総括業務責任者としての入札公告の告示日時点の実務経験年数 (ア) 次のすべての条件を満たす浄水場における実務経験 1. 表流水を水源とする施設 2. 処理能力が25,000m ³ /日以上以上の施設 3. 浄水処理方式が急速ろ過方式である施設 (イ) 浄水処理方式で ①オゾン処理設備 ②粒状活性炭処理設備 ③生物処理設備 ④粉末活性炭処理設備 各項における業務実績 注意1. 職務内容が仕様書第1章第10条と同等であれば、「総括業務責任者」と異なる名称の立場での実務経験でも可。 注意2. (イ)に掲げる条件は、各々別途業務(契約)の実務経験でも可。但し、①~④で示す項目は重複して数えないこと。 注意3. (ア)(イ)の履行期間は、いずれも各3年以上の実務経験を有すること。	以下の書類を添付すること ・配置予定者(総括業務責任者)経歴表 [様式添付1] ・実務経験(履行した業務の施設規模及び履行年数等)が確認できる書類(契約書、設計書、特記仕様書、図面、出来高検査済証、完成検査済証等の写し) ・配置予定者(総括業務責任者)が実務経験した業務において、その職務内容が仕様書第1章第10条と同等であったことが確認できる書類(配置技術者届出書等の写し) ・配置予定者(総括業務責任者)が申請日の3ヶ月以上前から継続して雇用関係にあることが確認できる書類(健康保険証の写しなど、会社名が記載されたものに限る)	(ア)○	3年以上の実務経験	6	3	2	(ア)に掲げる条件を満たす実務経験が、7年以上	(ア)に掲げる条件を満たす実務経験が、6年以上	(ア)に掲げる条件を満たす実務経験が、5年以上	(ア)に掲げる条件を満たす実務経験が、3年以上	左記に満たない
					(ア)○	浄水場処理能力300,000m ³ /日以上の実績	15	3	5	(ア)に掲げる条件を満たす浄水場の処理能力が300,000m ³ /日以上	(ア)に掲げる条件を満たす浄水場の処理能力が100,000m ³ /日以上	(ア)に掲げる条件を満たす浄水場の処理能力が50,000m ³ /日以上	(ア)に掲げる条件を満たす浄水場の処理能力が25,000m ³ /日以上	左記に満たない
					(イ)○	①~③の3項目の業務実績	12	3	4	(イ)に掲げる方式4項目	(イ)に掲げる方式3項目	(イ)に掲げる方式2項目	(イ)に掲げる方式1項目	左記に満たない
	(2) 配置予定の有資格者等数 (同一人物が複数の資格を有する重複は可)	7-1	第一級陸上特殊無線技士【旧名称:特殊無線技士(多重無線設備)】、第一級総合無線通信士、第二級総合無線通信士、第三級総合無線通信士、第一級陸上無線技術士、第二級陸上無線技術士のいずれかの資格を有するもの	○	8名以上配置	5	1	5	8名以上配置	7名配置	6名配置	5名配置	左記に満たない	
		7-2	酸素欠乏、硫化水素危険作業主任者	○	6名以上配置	5	1	5	6名以上配置	5名配置	4名配置	3名配置	左記に満たない	
		7-3	特定化学物質作業主任者	○	6名以上配置	5	1	5	6名以上配置	5名配置	4名配置	3名配置	左記に満たない	
		7-4	電気主任技術者(第一種~第三種)	○	4名以上配置	5	1	5	4名以上配置	3名配置	2名配置	1名配置	左記に満たない	
		7-5	エネルギー管理士	○	4名以上配置	5	1	5	4名以上配置	3名配置	2名配置	1名配置	左記に満たない	
		7-6	技術士(上下水道部門)、1級水道浄水施設管理技士のいずれか1つ以上の資格を有するもの	○	4名以上配置	5	1	5	4名以上配置	3名配置	2名配置	1名配置	左記に満たない	

■技術提案評価結果

管理番号1

評価項目	評価の視点	評価項目番号	提案項目	添付書類	評価 ○:適切 ×:不適切	評価理由	素点	重み 係数	評価 点	評価結果				
										特に優れている 5	優れている 4	良 3	可 2	劣る 0
(3) 組織体制等に対する具体性、妥当性		8-1	本業務の実施にあたっての人員配置、勤務体制 ①通常業務の遂行に必要な人員配置計画(人数、業務分担、体制) ②非常時及び緊急時に必要な人員配置計画(人数、業務分担、体制)		①○ ②○	人数(29人程度)、業務分担及び体制(統括業務責任者、代務者及び各業務(運転、点検、保守))について、提案が適切。 非常時(自然災害)、緊急時(緊急出動業務)における人数、到着時間、人員配置計画等について、提案が適切。	15	3	5	具体的かつ有用な提案2項目		具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない
		8-2	当直業務責任者の配置人数(交替要員を含む、従事者届での記載人数) ※当直業務責任者は、当該業務に係る現場の組織体制において、総括業務責任者の指揮の下、他の従事者を指導する立場のもの ※当直業務責任者は、仕様書第1章第11条に規定する資格を満たす者とする ※総括業務責任者、代務者は含めない。		○	7名以上の配置人数	15	3	5	7名以上配置	6名配置	5名配置	4名配置	左記に満たない
		8-3	運転監視業務に従事する者の配置人数(交替要員を含む、従事者届での記載人数) ※当直業務責任者を含めた人数を記載すること。 ※総括業務責任者、代務者は含めない。		○	20名以上の配置人数	15	3	5	20名以上配置	19名配置	18名配置	17名配置	左記に満たない
		8-4	運転監視業務に従事する者の配置人数のうち、以下のいずれかの条件を満たす者の人数を記載すること。 ア) 第1章第11条に規定する当直業務責任者となる資格を有する者 イ) 運転管理業務の実務経験1年以上の者		○	11名以上の配置人数	15	3	5	11名以上配置	10名配置	9名配置	8名配置	左記に満たない
		8-5	日常業務の引継ぎ ①日々の業務引き継ぎ体制(時間、参加者) ②引き継ぎ内容の周知方法(特に、見える化の工夫)		①○ ②○	引継時間(午前、午後)、各参加者について、提案が適切。 月間行事予定(ホワイトボード)、週間行事予定(作成し掲示)、当日作業内容(朝夕のミーティング時に周知、ファイリング)等について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案2項目		具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない
							128							
3) 業務実績	(1) 運転管理業務の元請実績	9	過去10年以内における運転管理業務実績 (ア) 次のすべての条件を満たす浄水場における業務実績 1. 表流水を水源とする施設 2. 処理能力が50,000m ³ /日以上 3. 浄水処理方式が急速ろ過方式である施設 (イ) 浄水処理方式で ①オゾン処理設備 ②粒状活性炭処理設備 ③生物処理設備 ④粉末活性炭処理設備 各項目における業務実績 注意1 (イ)に掲げる条件は、各々別途業務(契約)の業務実績でも可。但し、①~④で示す項目は重複して数えないこと。 注意2 (ア)、(イ)は、いずれも履行期間が3年以上経過しているものに限る。	以下の書類を添付すること ・業務実績一覧表[様式添付2] ・平成24年4月1日から入札公告の告示日までに元請として履行した業務の施設規模及び履行年数が確認できる書類(契約書、設計書、特記仕様書、図面、出来高検査済証、完成検査済証等の写し)	(ア)○ (ア)○ (イ)○	5件以上の実績 300,000m ³ /日以上の処理能力 4項目の業務実績	10	2	5	(ア)に掲げる条件を満たす実績が、5件以上	(ア)に掲げる条件を満たす実績が、3件以上	(ア)に掲げる条件を満たす実績が、2件以上	(ア)に掲げる条件を満たす実績が、1件以上	左記に満たない
										(ア)に掲げる条件を満たす浄水場の処理能力が300,000m ³ /日以上	(ア)に掲げる条件を満たす浄水場の処理能力が200,000m ³ /日以上	(ア)に掲げる条件を満たす浄水場の処理能力が100,000m ³ /日以上	(ア)に掲げる条件を満たす浄水場の処理能力が50,000m ³ /日以上	左記に満たない
										(イ)に掲げる方式4項目	(イ)に掲げる方式3項目	(イ)に掲げる方式2項目	(イ)に掲げる方式1項目	左記に満たない
							30							
							180							

■技術提案評価結果

管理番号1

評価項目	評価の視点	評価項目番号	提案項目	添付書類	評価 ○:適切 ×:不適切	評価理由	素点	重み 係数	評価 点	評価結果				
										特に優れている 5	優れている 4	良 3	可 2	劣る 0
2. 運転監視業務への提案 業務実施計画	1) (1) 水処理施設の運転管理計画	10	水処理施設の運転管理方策(高度処理を含む経験や知見に基づく運転管理技術提案) ①運転管理マニュアルに記載すべき、具体的な項目及び課題と解決方法 ②運転管理マニュアルの見直し時期と見直しの視点 ③他業務との連絡調整に際して留意すべき事項		①× ②○ ③○	運転管理の目的について記載がなく、提案が不適切。 見直し時期(年1回)、見直しの視点(故障対応、施設・設備の新設、更新時等)について、提案が適切。 連絡調整について、提案が適切。	12	3	4	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない
	(2) 水質基準及び管理目標値に基づく水質管理の方策	11	水質監視を行うための方策 ①水質監視についての考え方 ②薬品注入に関する基礎知識と管理方策		①○ ②○	基本的な考え方、品質管理等について、提案が適切。 各凝集剤に関する基礎知識(留意点)及び管理方策について、提案が適切。	15	3	5	具体的かつ有用な提案2項目		具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない
	(3) 電気設備の監視操作計画	12	電気設備の監視操作及び省エネルギーに対する方策 ①受電設備の系統切替に伴う注意事項と確認方法について ②電力デマンド監視と負荷調整の留意点について ③電力削減の具体的な提案について		①○ ②○ ③○	操作マニュアルに従い2名以上で行う等、必要事項について、提案が適切。 負荷調整対象機器、台数及びそれに伴う留意点について、提案が適切。 攪拌機回転数の低減、関西電力(株)のピーク時間調整特約等についての提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない
	(4) コスト削減を目的とした運転管理計画	13	水処理施設の運転管理におけるコスト削減の方策(但し、電力の削減を除く)(4項目提案)		○	以下3項目の提案が適切。 ・庭窪浄水場の前PACと後PACの注入パターンの使い分けによる凝集剤使用量の縮減 ・庭窪浄水場の急速ろ過池洗浄工程の洗浄時間短縮に伴う洗浄水量の削減 ・大庭浄水場の原水水質及び処理状況に応じた注入量変更における判断の一律化による硫酸バンド注入量の削減	4	1	4	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	
							36							
							36							

■技術提案評価結果

管理番号1

評価項目	評価の視点	評価項目番号	提案項目	添付書類	評価 ○:適切 ×:不適切	評価理由	素点	重み 係数	評価 点	評価結果					
										特に優れている 5	優れている 4	良 3	可 2	劣る 0	
3. 施設点検と保守整備業務への提案 業務実施計画	1)	14	日常点検計画と、定期点検計画 ①点検内容及び点検方法 ②点検時のヒューマンエラーの防止策 ③点検データ管理(記録及び管理方法と体制) ④施設点検及び保守整備マニュアル作成(どのような観点で作成するか)		①○ ②○ ③○ ④○	各点検頻度(日、週、月)の違いによる点検内容、点検方法(人数、班体制)について、提案が適切。 ヒューマンエラーの要因となる確認漏れ、判断ミス、操作ミスを防止策として見える化、点検作業の標準化について、提案が適切。 企業団の保全・図面情報システムにデータを登録、情報漏洩防止及び総括業務責任者による企業団への報告体制等について、提案が適切。 作業品質の均一化・向上を目的に作業手順を明確にし、ヒューマンエラー防止の観点で作成する等について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない	
		15	故障及び異常発生時への対応計画 ①原因調査、応急措置実施体制及び発注者への報告 ②データ管理(記録、管理方法及び管理体制) ③故障対応マニュアル作成(どのような観点で作成するか)		①○ ②○ ③○	原因調査(再現性、完成図書、類似事例等の確認)、応急措置及び発注者への報告について、提案が適切。 企業団の保全・図面情報システムにデータを入力し、総括業務責任者または代務者が定期的に故障状況を確認する等について、提案が適切。 故障対応マニュアル作成について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない		
		16	水質計器の保守整備について ①点検時に留意すべき事項 ②清掃、部品交換時の留意事項 ③点検周期の考え方について ④発注者が行う保守点検や補修工事等の連携作業について		①○ ②○ ③○ ④○	運転監視業務従事者との情報共有、適切な操作手順、安定した精度管理等について、提案が適切。 主な交換部品、交換頻度等について、提案が適対象となる水質計器ごとの点検、清掃頻度について、提案が適切。 工事作業の前と後における打合せ内容について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない	
		17	試薬や交換部品の管理について ①在庫管理(在庫不足によるリスク回避) ②保管時の注意事項と周知の方法 ③発注者への定期的報告(期間、方法)		①○ ②○ ③○	在庫管理の体制、試薬及び交換部品の管理方法について、提案が適切。 試薬及び交換部品保管時の注意事項と周知の方法について、提案が適切。 毎月の使用量及び在庫量に関する定期報告について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない		
							20								
							20								
4. 現場監視操作及び修繕業務への提案 業務実施計画	1)	18	施設現場監視操作及び修繕業務での体制、方法 ①現場監視操作及び修繕業務に関する組織体制(現場組織、全社組織体制及び修繕能力) ②現場監視操作業務に対するマニュアル作成(どのような観点で作成するか) ③現場監視操作を行う為の具体的な手法について ④修繕業務を行う為の具体的な手法について		①○ ②× ③○ ④○	現場組織、全社組織体制、修繕実績について、提案が適切。 操作手順のマニュアル記載及びマニュアル修正方法の記載がなく、提案が不適切。 各作業工程における具体的な手法について、提案が適切。 対応の検討、修繕業務の実施等について、提案が適切。	4	1	4	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない	
									4						
							4								

■技術提案評価結果

管理番号1

評価項目	評価の視点	評価項目番号	提案項目	添付書類	評価 ○:適切 ×:不適切	評価理由	素点	重み 係数	評価 点	評価結果					
										特に優れている 5	優れている 4	良 3	可 2	劣る 0	
5 緊急時対応業務への提案 危機管理	1) 緊急時対応	19	緊急連絡と配備体制 ①出勤要請後、庭窪浄水場または他の対象施設に対して30分以内に配備可能な緊急連絡、配備体制 ②緊急時の対応を適切に実施するための具体的な手法について		①○ ②○	緊急出勤時に現場へ30分以内に到着可能な配備体制について、提案が適切。 日常からの方策、応急措置を円滑に実施するための取り組みについて、提案が適切。	15	3	5	具体的かつ有用な提案2項目		具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない	
		20	原水高濁等水質異常時の対応 ①水質異常2項目(原水高濁、その他)における運転管理の留意点、対応の具体性 ②水質異常2項目(原水高濁、その他)の対応方法 ③水質異常2項目(原水高濁、その他)に備えた事前に実施すべきこと		①× ②○ ③○	その他の項目についての記載なし。 確認、実施項目及び対応の内容について、提案が適切。 事前の準備として気象情報の収集、薬品残量の把握等について、提案が適切。	12	3	4	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない	
	2) 危機管理	21	交通途絶時においても、運転監視業務を継続する体制について ①職員被災時の要員補充方法 ②交替要員の参集方法		①○ ②○	出勤していない運転従事者の補充、支援要員の補充等について、提案が適切。 自然災害の情報収集を行い、安否確認システムにより交替要員を選定する等について、提案が適切。	10	2	5	具体的かつ有用な提案2項目		具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない	
		22	感染症予防対策及び感染後の事業継続する体制について ①感染予防を目的とした業務体制(現場組織、全社組織) ②職員への具体的な感染予防対策 ③感染拡大時の業務継続方法		①○ ②○ ③○	業務体制における全社組織及び現場組織について、提案が適切。 職員への具体的な感染予防対策において、体制面、行動面及び環境面に関する対策について、提案が適切。 流行性疾患等蔓延時及び従事者不足時における備えについて、提案が適切。	10	2	5	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目		左記に満たない	
	3) 危機管理	23	突発的な事態に事故に備えた訓練について ①停電事故に対する危機管理訓練の方法と実施について ②水源事故に対する危機管理訓練の方法と実施について ③地震に対する危機管理訓練の方法と実施について ④薬品漏液事故に対する危機管理訓練の方法と実施について ⑤火災事故に対する危機管理訓練の方法と実施について ⑥送・配水管路の漏水事故に対する危機管理訓練の方法と実施について		①○ ②× ③× ④× ⑤× ⑥×	業務従事者に対し、班ごとに実施する計画にて提案しており、適切。 業務従事者に対し、訓練の内容が十分でないため、不適切。 業務従事者に対し、訓練の内容が十分でないため、不適切。 業務従事者に対し、訓練の内容が十分でないため、不適切。 業務従事者に対し、訓練の内容が十分でないため、不適切。 業務従事者に対し、訓練の内容が十分でないため、不適切。 業務従事者に対し、訓練の内容が十分でないため、不適切。	0	2	0	具体的かつ有用な提案6項目	具体的かつ有用な提案5項目	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	左記に満たない	
							47								
							47								

■技術提案評価結果

管理番号1

評価項目	評価の視点	評価項目番号	提案項目	添付書類	評価 ○:適切 ×:不適切	評価理由	素点	重み 係数	評価 点	評価結果				
										特に優れている 5	優れている 4	良 3	可 2	劣る 0
6.その他	1) 安全管理	24	安全管理体制の確立 ①組織体制(現場組織、全社組織) ②安全教育、研修の実施内容 ③夜間勤務における安全管理 ④発注者への報告内容		○	現場組織及び全社組織について、提案が適切。 ②○ 安全協議会、安全研修、危険予知活動等において開催頻度、対象者及び内容について、提案が適切。 ③○ 日常業務引継時の申し送り、2名以上の作業、夜間勤務時の携帯電話の常備、休憩時間の設置等について、提案が適切。 ④○ 計画書に基づき実施し、毎月の報告書と合わせて各種教育・研修等の結果報告について、提案が適切。	5	1	5	具体的かつ有用な提案4項目	具体的かつ有用な提案3項目	具体的かつ有用な提案2項目	具体的かつ有用な提案1項目	左記に満たない
	2) 第三者への賠償	25	受注者の責めによる第三者への損害賠償について		○	第三者への損害賠償の具体的な支払方法や損害を未然に抑える体制の構築を含めた提案が適切かつ優れている。	5	1	5	具体的かつ有用であり優れた提案		具体的かつ有用な提案		提案なし又は不適切な提案
	3) 業務不履行の対応	26	突発的な事情等により、仕様書記載内容と本技術提案に対する提案書記載内容を満たせない場合の対応策について		○	具体的に代替案を協議・提示する等、仕様書及び技術提案を満たせない場合について、提案が適切(具体的かつ有用)。	3	1	3	具体的かつ有用であり優れた提案		具体的かつ有用な提案		提案なし又は不適切な提案
							13							
							13							
総点数							300							
最高素点							335							